



NEWS ECO

シババ化工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681
URL http://www.shibuya-p.com



玄関わきでピンク色の小さな花を咲かせている鉢植えに気づかれた方もあるかと思います。春見監査役が育てた「ネジバナ」です。その名のとおり、小さな花が螺旋状に花茎をとりかこみ、並んで咲いています。5月から8月頃まで見られ、梅雨の季節に風にそよぐ姿は涼しさを運んでくれます。

「ネジバナ」はラン科の植物で日本全国に分布する多年草。乾燥した場所から湿地にまで生育し、螺旋状に並んで咲く花は、右巻きと左巻きの両方があります。花の色もピンク色の濃いものから薄いもの、白いものまで多様とのことです。葉にも変化がみられることから愛好家も多いとのことです。ネジバナ単独で鉢植え栽培をしようとすると、かなり難しく、育たない場合も多いとのことです。監査役も花を咲かせるために苦労されたかもしれません。

さて、6月は空梅雨ぎみだった名古屋地方ですが、今後の空模様はどうなるのでしょうか。ちなみに、東海地方の平均的な梅雨明けは7月21日、去年は7月7日でした。

気象庁によると今年の夏は5年ぶりにエルニーニョ現象が発生する可能性が高く、夏にエルニーニョ現象が発生すると、日本付近では太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、梅雨明けが遅く、冷夏・多雨・日照不足になる傾向があるとのことです。

不順な天候が予想されます。体調の管理に気を配りましょう！！

ところで “エルニーニョ” ってなんですか？

「エルニーニョ現象」とは

太平洋赤道域の日付変更線付近から南米のペルー沿岸にかけての広い海域で海面水温が平年に比べて高くなり、その状態が1年程度続く現象です。逆に、同じ海域で海面水温が平年より低い状態が続く現象は「ラニーニャ現象」と呼ばれています。ひとたびエルニーニョ現象やラニーニャ現象が発生すると、日本を含め世界中で異常な天候が起こると考えられています。(図-1)

メカニズムは

太平洋の熱帯域では、貿易風と呼ばれる東風が常に吹いているため、海面付近の暖かい海水が太平洋の西側に吹き寄せられています(図-2・平常時)。西部のインドネシア近海では海面下数百メートルまでの表層に暖かい海水が蓄積し、東部の南米沖では、この東風と地球の自転の効果によって深いところから冷たい海水が海面近くに湧き上がっています。このため、海面水温は太平洋赤道域の西部で高く、東部で低くなっています。海面水温の高い太平洋西部では、海面からの蒸発が盛んで、大気中に大量の水蒸気が供給され、上空で積乱雲が盛んに発生します。

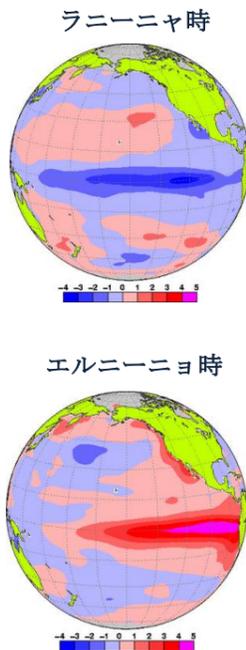
エルニーニョ現象が発生している時には、東風が平常時よりも弱くなり、西部に溜まっていた暖かい海水が東方へ広がるとともに、東部では冷たい水の湧き上がりが弱まっています(図-2・エルニーニョ現象時)。このため、太平洋赤道域の中部から東部では、海面水温が平常時よりも高くなっています。エルニーニョ現象発生時は、積乱雲が盛んに発生する海域が平常時より東へ移ります。

私たちの生活への影響は？

前回、エルニーニョ現象が発生した2009年の夏は北・東・西日本は日照不足となりました。7月に中国・九州北部豪雨が発生したほか、多くの地域で梅雨明けが遅れ、九州北部と近畿、東海は梅雨明けが8月にずれこみました。また、中国・北陸・東北地方は梅雨明けが特定できませんでした。

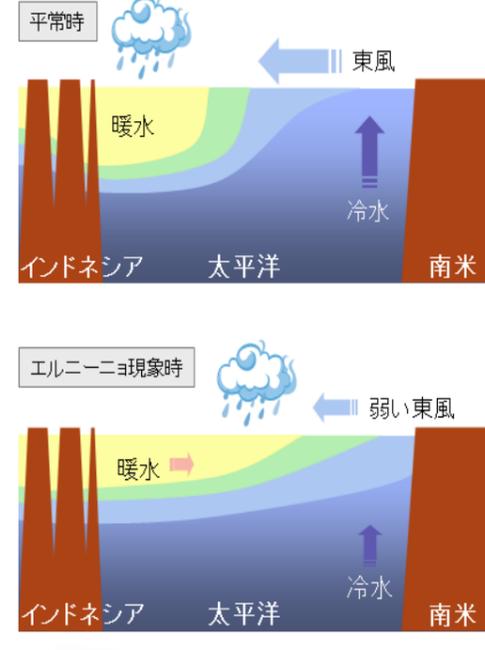
また、台風の発生数は少ない傾向にあるものの、寿命が長く、大型のものが多くといわれています。

(図-1)



(気象庁ホームページより)

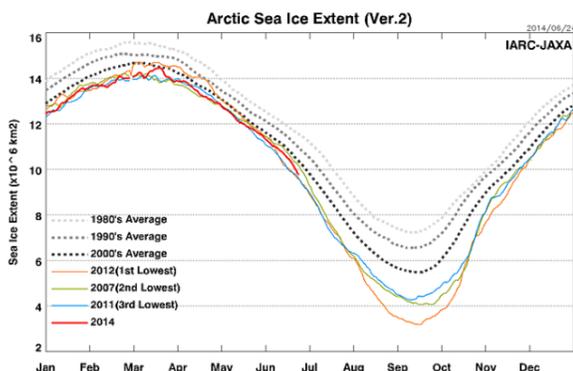
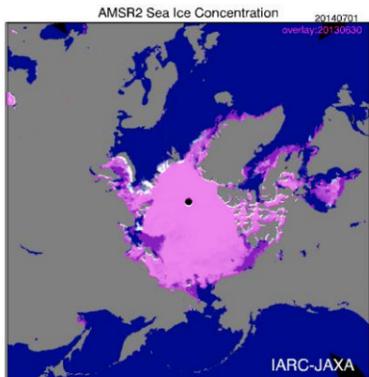
(図-2)



すだれ・よしずで
省エネ暑さ対策

《7月の北極海》

IARC-JAXA Information System



7月1日の北極海の海水状況です。夏季に最も海水が減少した2012年より少ない傾向が4月末まで続いていましたが、5月から6月中旬までは減少速度が鈍くなり逆に2012年に比べ多くなっていました。ところが、一転6月下旬から一気に海水は減少し2012年レベルとなっています。昨年よりは多い状況ですので、北極海の氷が消滅することはないと思いますが夏季に一気に海水面積が、減少することから、ちょっと気になります。

5月末から6月初旬、真夏の暑さでした。梅雨入り後は比較的涼しい傾向が続いていますが、今後はどうなることでしょうか。

この季節になると「みどりのカーテン」の話題が聞かれますが、皆さんの家庭ではいかがですか。今からでは間に合いませんので省エネ、節電に効果のある先人の知恵、「すだれ」と「よしず」を紹介します。

カーテンは遮光により暑さ対策には一定の効果はありますが帯びた熱を室内に放出したり、網戸をふさいだり、風の抵抗となり、換気を妨げます。

「すだれ」は窓の外に吊るす外掛けと、内側に吊るす内掛けがありますが手軽で便利なのが内掛け。

簡単なのは、カーテンレールを利用する方法で、カーテンとレースを外して「すだれ」を掛けます。前後してかければスライドすることが可能です。

窓を開けながら「よしず」を利用する場合に、水をかけたり地面に打ち水をする、室内に入ってくる風が2℃程下がります。

適度に水を吸い取ることができる「よしず」は水が蒸発することによる気化熱で、外気より2、3度涼しい風が入ってきます。

風流と省エネを兼ねて試してみれば...